

2021年度第3四半期 決算説明資料

2022年2月8日

出光興産株式会社

目次

- エグゼクティブサマリー
- 2021年度第3四半期決算
- 参考資料

■ エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

■ 21年度3Q決算

- ✓ 資源価格が堅調に推移したことによる資源事業の増益及び在庫影響の改善を主因として前年比増益

[億円]

	20年度3Q	21年度3Q	増減
営業 + 持分利益	134	2,973	+2,839
(在庫影響除き)	(728)	(1,342)	(+614)
当期純利益	▲ 75	1,999	+2,074
(在庫影響除き)	(337)	(868)	(+531)

■ 21年度業績見通し

- ✓ 足元の原油価格は見通しを上回る水準で推移しているものの、オミクロン株感染拡大による当社業績への影響が不透明であることから11月公表を据え置く
(ドバイ原油価格 下期前提：75 \$/バレル、1月実績：83.5\$/バレル)

■ 21年度株主還元方針・配当予想

- ✓ 2020~22年度3ヶ年累計の在庫影響除き当期純利益に対し、総還元性向50%以上の株主還元、1株あたり120円の安定配当を実施する方針（期末配当予想**60円**）

■ 2021年度第3四半期決算

トピックス

■ 燃料油需要の動向

- ✓ 3Qの主燃料は、昨年度の暖房需要の反動および緊急事態宣言解除後の需要回復遅れ等により前年比96.6%の実績
- ✓ JET燃料は引続き回復基調で推移

	20年度	21年度 上期	21年度 10-12月	21年度 下期見通し	21年度 見通し	[%] 21年度 (19年比)
主要4品	94.6	99.9	96.6	100.5	100.2	94.7
(うち揮発油)	(90.4)	(101.6)	(99.0)	(102.6)	(102.1)	(92.2)
JET燃料	54.2	131.3	109.9	132.7	132.0	71.6

※当社販売伸長率(前年比)

■ ベトナム ニソン製油所の3Q実績

- ✓ ベトナム国内の新型コロナ感染拡大により製油所稼働減も、原油価格上昇による在庫・タイムラグ影響および市況要因により、収益は改善
- ✓ NSRPの稼働等について一部で現地報道があったが、現在、通常稼働に向けた対応を実施中

トピックス

■ アグリバイオ技術を用いた環境の取組みをTVが特集

- ✓ 2021年11月に開催されたCOP26において、メタンガス削減の必要性にも焦点があてられた。
- ✓ このため、当社製品『ルミナップ®』の有効成分であるカシューナッツ殻液に牛のげっぷから発生するメタンを削減する効果があることがTVで紹介された。
(ルミナップに関する情報は以下URLを参照)

URL https://www.idemitsu.com/jp/business/agri/product/raising/cnsl_lp/

■ 「出光総合レポート2021」発行

- ✓ 見直し中計で公表した企業理念や当社グループの目指す姿に加え、価値創造プロセスや財務・非財務情報等を総合的に掲載

URL <https://sustainability.idemitsu.com/ja/themes/204>



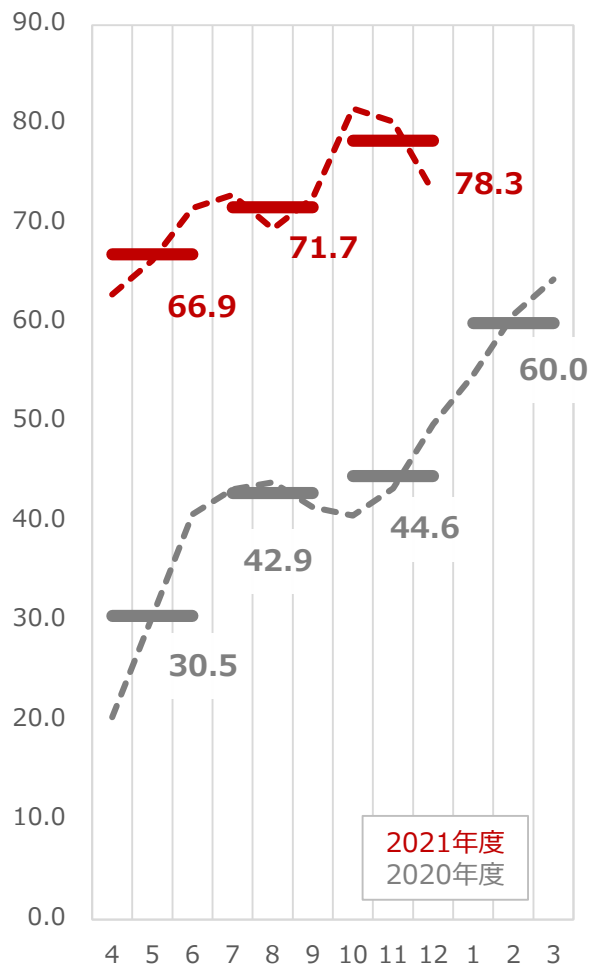
■ UAEからのブルーアンモニア輸送実証試験を実施

- ✓ 同国で製造されたブルーアンモニアを購入し、当社グループの昭和四日市石油株式会社四日市製油所への国際輸送・納入を完了
- ✓ 今後も国内外の様々な企業との連携によりサプライチェーンの早期構築を目指しカーボンニュートラル社会の実現に貢献

事業環境

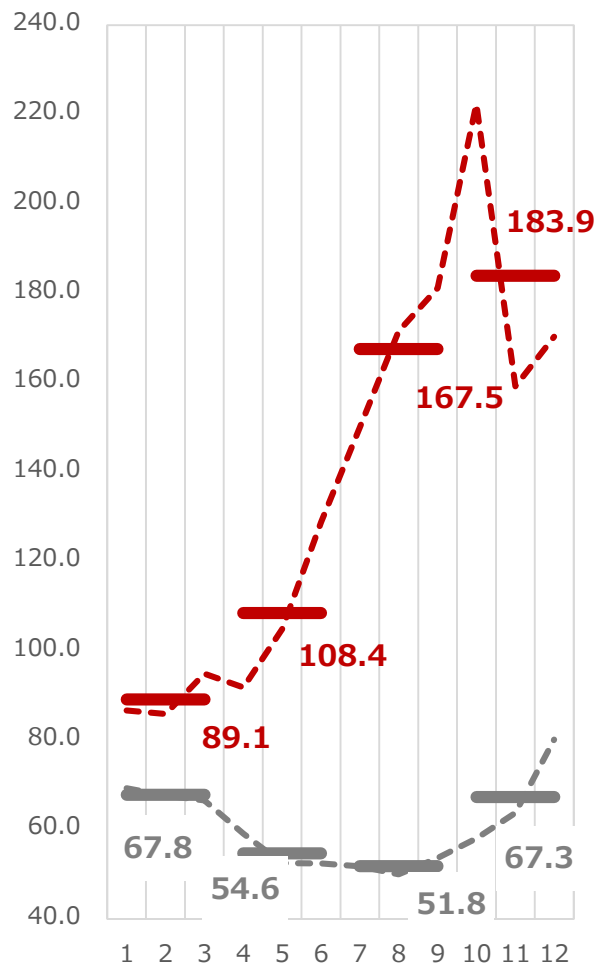
ドバイ原油価格

[USD/バレル]



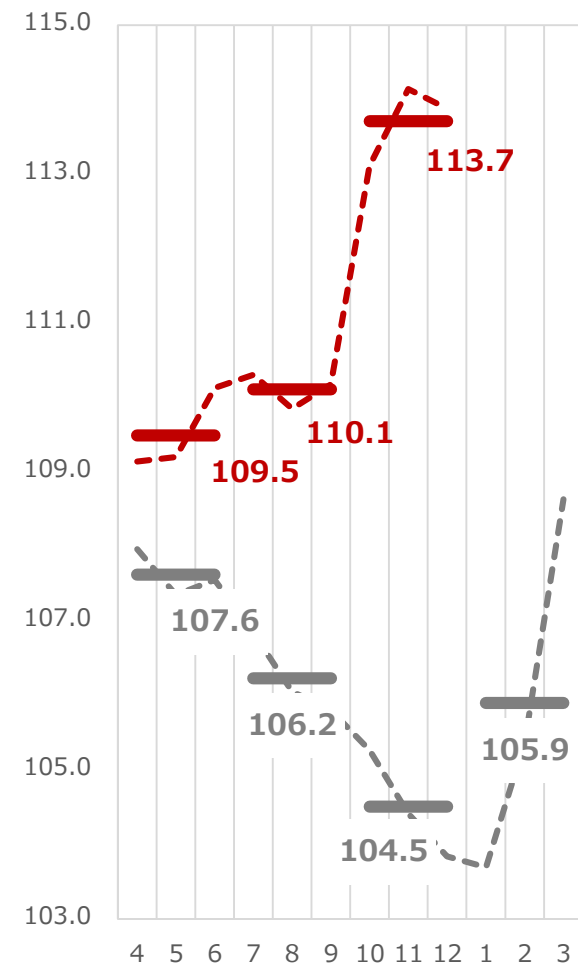
豪州一般炭スポット価格

[USD/トン]



為替レート(USD)

[円/USD]



決算概要

■ 原油、石炭価格および為替レート

[USD/バレル、USD/トン、円/USD]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
ドバイ原油価格	39.4	72.3	+32.9	+83.5%
ブレント原油価格*	40.8	67.7	+26.9	+65.9%
豪州一般炭スポット価格*	58.1	121.7	+63.6	+109.5%
為替レート	106.1	111.1	+5.0	+4.7%

*ブレント原油価格及び豪州一般炭価格は1-9月平均

■ 連結損益計算書ハイライト

[億円]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
売上高	32,113	46,472	+14,359	+44.7%
営業利益	493	2,790	+2,297	+465.5%
（内 在庫評価損益）	(▲594)	(1,631)	(+2,225)	—
持分法投資損益	▲ 360	182	+542	—
営業 + 持分	134	2,973	+2,839	—
（在庫影響除き）	(728)	(1,342)	(+614)	+84.5%
経常利益	146	3,030	+2,884	—
特別損益	▲ 91	▲ 64	+27	—
当期純利益	▲ 75	1,999	+2,074	—
（在庫影響除き）	(337)	(868)	(+531)	+157.6%

セグメント別情報

■ 営業利益 + 持分法投資損益

[億円]

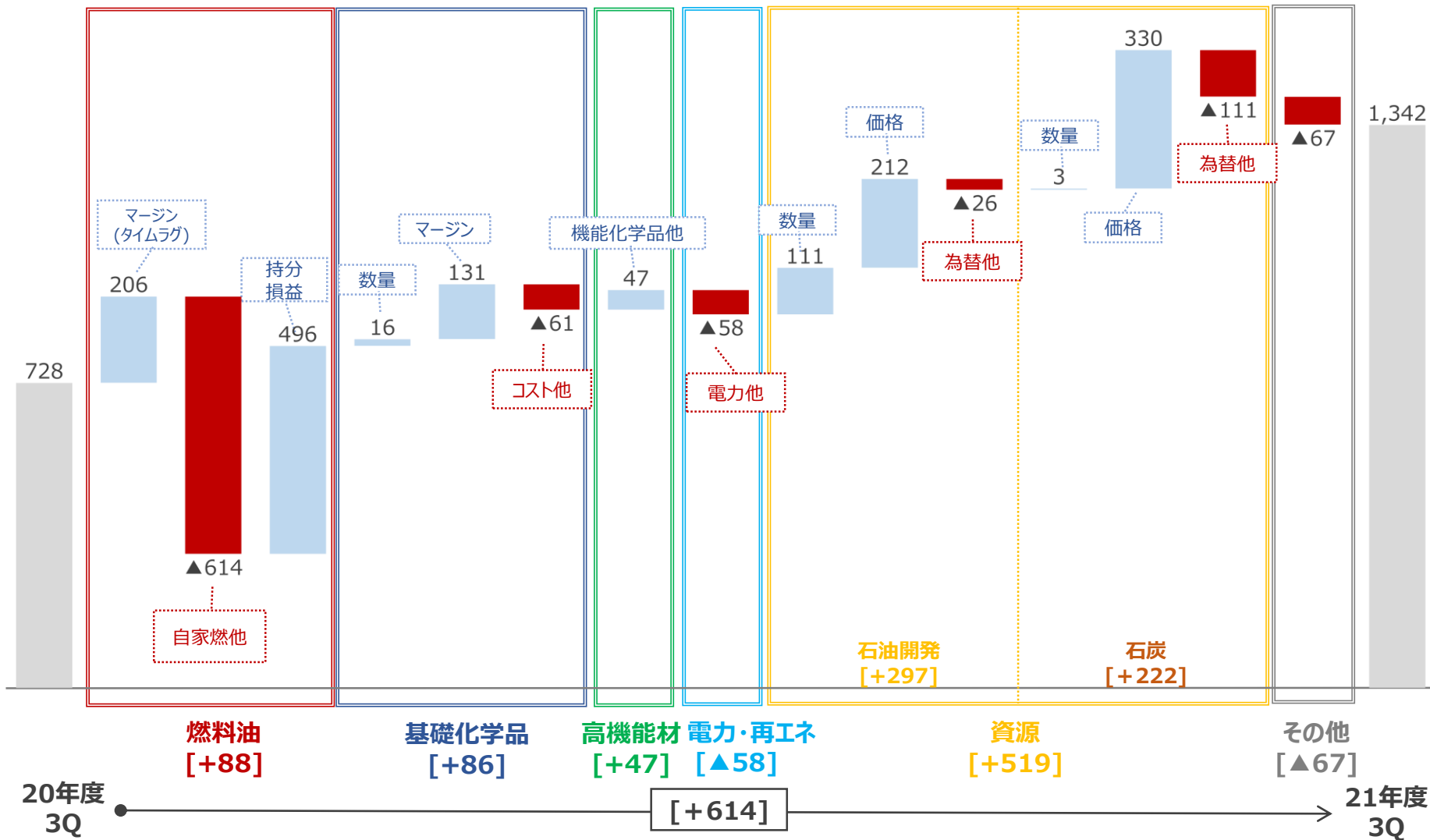
	20年度3Q	21年度3Q	増減	
燃料油	55	2,368	+2,312	—
(在庫影響除き)	(649)	(737)	(+88)	+13.5%
基礎化学品	▲ 10	76	+86	—
高機能材	95	142	+47	+49.4%
電力・再生可能エネルギー	▲ 17	▲ 76	▲ 58	—
資源*	45	564	+519	—
(内 石油開発)	(52)	(349)	(+297)	(+572.8%)
(内 石炭)	(▲ 7)	(215)	(+222)	—
その他	▲ 35	▲ 102	▲ 67	—
セグメント合計	134	2,973	+2,839	—
(在庫影響除き)	(728)	(1,342)	(+614)	+84.5%

*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

セグメント別情報

■ 営業利益 + 持分法投資損益増減分析 (在庫影響除き、前年比)

[億円]



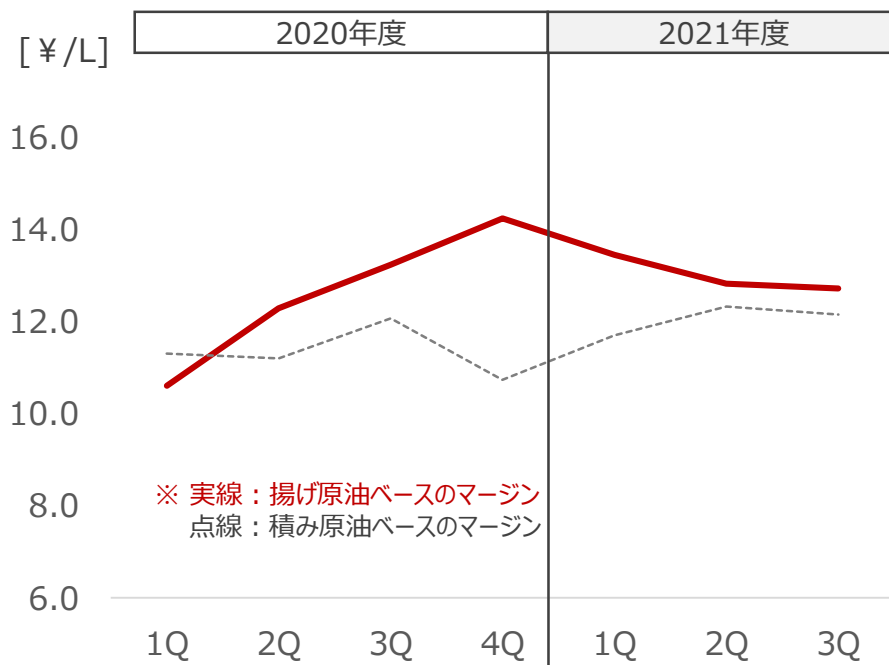
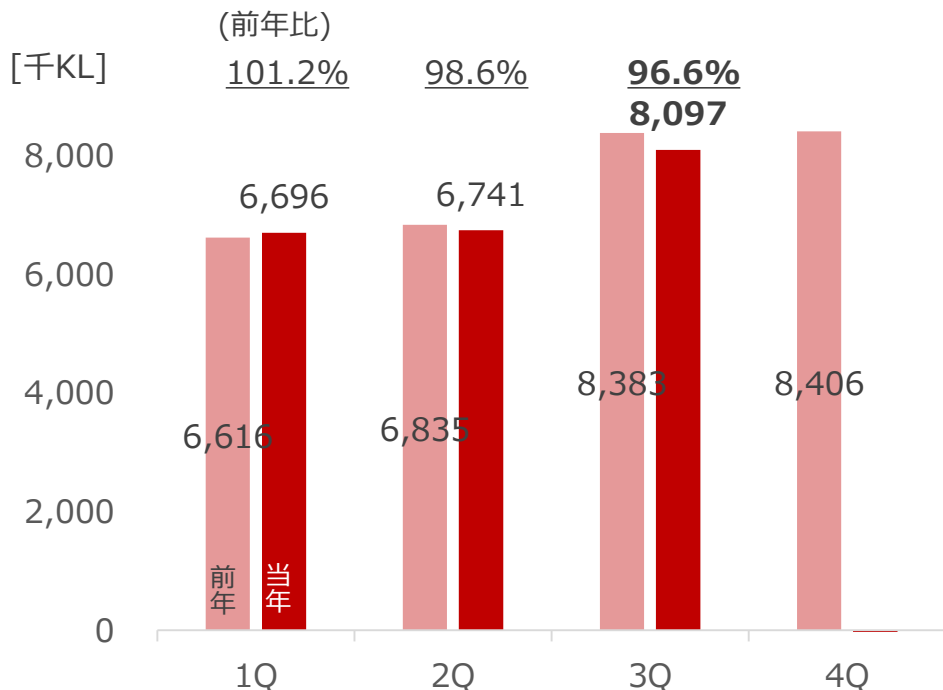
セグメント別情報

[燃料油] 前年比 + 88億円 (2020年度3Q : 649億円 → 2021年度3Q : 737億円)

〈燃料油販売数量前年比(主燃料)〉

〈国内石油製品マージン*推移〉

*ガソリン・軽油・灯油・A重油の加重平均マージン(国内スポット-原油)



- ✓ 3Qの主燃料販売は、昨年度の暖房需要の反動等により前年比減販
- ✓ 製品マージンはタイムラグ要因から前年比改善も自家燃・連産品等のコスト負担が上回る
- ✓ 持分法適用会社におけるタイムラグ等の改善によりセグメント利益は増益

セグメント別情報

[基礎化学品] 前年比 + 86億円 (2020年度3Q : ▲10億円 ➡ 2021年度3Q : 76億円)

✓ 3Qの製品市況は弱含みで推移も、前年対比では拡大し増益を確保

[USD/トン]

製品	20年度3Q		21年度3Q		増減	
	製品価格	マージン	製品価格	マージン	製品価格	マージン
PX	534	174	890	215	+356	+41
MX	432	72	779	103	+347	+31
SM	737	377	1,208	533	+471	+156

[高機能材] 前年比 + 47億円 (2020年度3Q : 95億円 ➡ 2021年度3Q : 142億円)

- ✓ 機能化学品は製品スプレッド拡大等により増益
- ✓ 電子材料は有機ELの増販により前年比で収益が改善
- ✓ 潤滑油は油価上昇に伴う価格転嫁遅れ等により減益

[電力・再エネ] 前年比 ▲ 58億円 (2020年度3Q : ▲17億円 ➡ 2021年度3Q : ▲76億円)

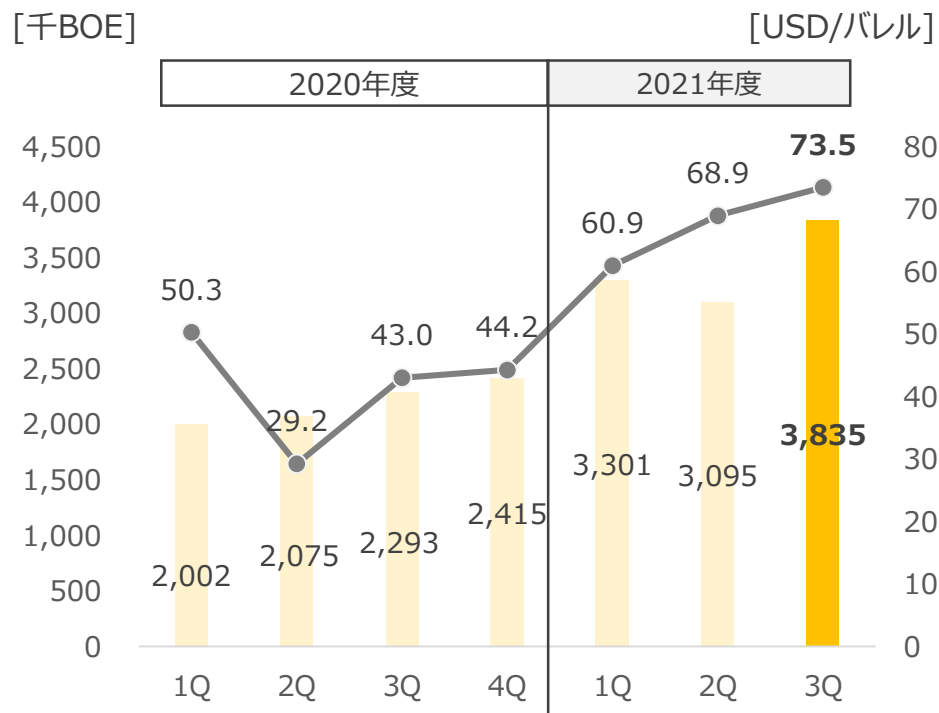
- ✓ 電力事業の調達価格上昇等により減益

セグメント別情報

[石油開発] 前年比+297億円

(2020年度3Q : 52億円 → 2021年度3Q : 349億円)

〈原油・ガス生産数量・ブレント原油価格推移〉

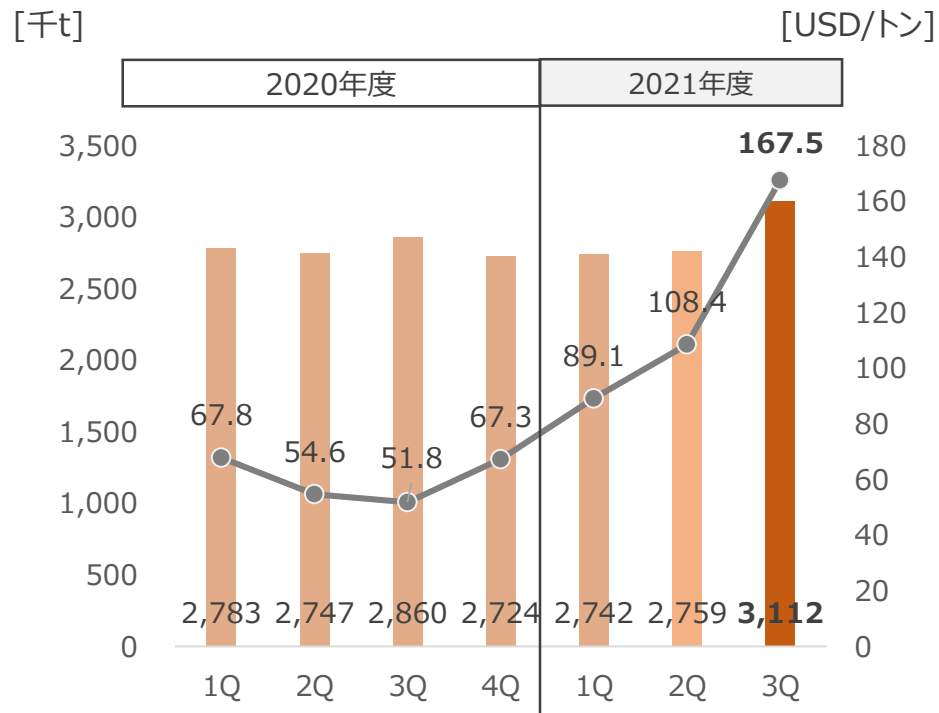


- ✓ ベトナム、ノルウェーにおける生産量増加および原油価格上昇が寄与し297億円の増益

[石炭] 前年比+222億円

(2020年度3Q : ▲7億円 → 2021年度3Q : 215億円)

〈石炭生産数量・豪州一般炭スポット価格推移〉



- ✓ 石炭市況上昇による増益が豪ドル高影響を上回り黒字転換

財務状況

[億円]

	21/3末	21/12末	増減		21/3末	21/12末	増減
現金・預金	1,313	894	▲ 419	流動負債計	16,213	19,602	+3,389
売掛債権 たな卸資産等	15,342	21,040	+5,698	固定負債計	11,180	11,675	+494
流動資産計	16,655	21,934	+5,278	負債合計	27,393	31,277	+3,884
有形固定資産	15,219	14,985	▲ 234	株主資本 その他の包括利益累計	11,509	13,176	+1,667
その他固定資産	7,670	7,980	+310	非支配株主持分	642	446	▲ 196
固定資産計	22,889	22,965	+76	純資産計	12,151	13,622	+1,471
総資産計	39,544	44,899	+5,354	負債・純資産計	39,544	44,899	+5,354

ネットD/Eレシオ	1.02	0.98	▲0.04
有利子負債計	13,089	13,854	+765
自己資本比率	29.1%	29.3%	+0.2%

■ 参考資料

セグメント概要

2021年3月末時点データ

■ 燃料油

- 原油処理能力 **94.5万バレル /日** *1)
- 国内燃料油販売量 **3,400万KL /年***2)
- SS数 **6,300カ所**

■ 基礎化学品

(生産能力)

- エチレン **100万t /年**
- パラキシレン **142万t /年** *3)
- スチレンモノマー **79万t /年**

■ 電力・再生可能エネルギー

- 発電能力 **1.4GW**
- うち 再生可能エネルギー **0.5GW**
- 太陽電池生産能力 **1GW /年**

■ 高機能材

潤滑油、機能化学品、電子材料、
高機能アスファルト、アグリバイオ、固体電解質

- 潤滑油販売量 **110万KL /年**
- エンジニアリングプラスチック(販売数量) **15万t /年**
- 粘接着基材(生産能力) **7.5万t /年**
- 有機EL材料(生産能力) **22t /年**

■ 資源

- 原油生産量 **2.4万バレル /日**
- 一般炭生産量 **1,100万t /年**

*1) 石油製品取引契約を締結する富士石油株式会社の原油処理能力を加えると109万バレル/日

*2) ジェット燃料及びC重油に含めていたボンド輸出数量は輸出燃料油に含めての表示に変更

*3) ミックスキシレンの生産能力を含む数値

11月9日公表業績見通し（概要）

■ 原油、石炭価格および為替レート

[USD/バレル、USD/トン、円/USD]

	5/11公表	11/9公表	増減		10月以降前提
ドバイ原油価格	60.0	72.1	+12.1	+20.2%	75.0
ブレント原油価格*	61.0	70.4	+9.4	+15.5%	78.5
豪州一般炭スポット価格*	80.0	135.5	+55.5	+69.4%	175.0
為替レート	105.0	109.9	+4.9	+4.7%	110.0

*ブレント原油価格及び豪州一般炭価格は1-12月平均

■ 連結損益計算書ハイライト

[億円]

	5/11公表	11/9公表	増減	
売上高	56,800	65,800	+9,000	+15.8%
営業利益	1,350	3,000	+1,650	+122.2%
（内 在庫評価損益）	(0)	(1,400)	(+1,400)	—
持分法投資損益	50	200	+150	+300.0%
営業+持分	1,400	3,200	+1,800	+128.6%
（在庫影響除き）	(1,400)	(1,800)	(+400)	(+28.6%)
経常利益	1,400	3,300	+1,900	+135.7%
特別損益	▲ 20	▲ 30	▲ 10	—
当期純利益	850	2,200	+1,350	+158.8%
（在庫影響除き）	(850)	(1,200)	(+350)	(+41.2%)

11月9日公表業績見通し（セグメント別情報）

■ 営業利益 + 持分法投資損益

[億円]

	5/11公表	11/9公表	増減	
燃料油	840	2,330	+1,490	+177.4%
（在庫影響除き）	(840)	(930)	(+90)	(+10.7%)
基礎化学品	100	150	+50	+50.0%
高機能材	160	160	—	—
電力・再生可能エネルギー	▲ 60	▲ 110	▲ 50	—
資源*	400	760	+360	+90.0%
（内 石油開発）	(330)	(350)	(+20)	(+6.1%)
（内 石炭）	(70)	(410)	(+340)	(+485.7%)
その他	▲ 40	▲ 90	▲ 50	—
セグメント合計	1,400	3,200	+1,800	+128.6%
（在庫影響除き）	(1,400)	(1,800)	(+400)	(+28.6%)

*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

決算関連

■ セグメント別売上高

[億円]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
			増減額	増減率
燃料油	25,096	36,048	+10,952	+43.6%
基礎化学品	2,226	3,963	+1,737	+78.1%
高機能材	2,517	3,027	+510	+20.3%
電力・再生可能エネルギー	902	924	+21	+2.4%
資源*	1,324	2,468	+1,144	+86.5%
(内 石油開発)	(234)	(707)	(+472)	(+201.4%)
(内 石炭)	(1,089)	(1,761)	(+672)	(+61.7%)
その他	49	43	▲ 5	▲ 11.3%
セグメント合計	32,113	46,472	+14,359	+44.7%

*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

決算関連

■ セグメント利益四半期推移（累計・在庫影響除き）

[億円]

	20年度 1Q	20年度2Q	20年度3Q	20年度	21年度 1Q	21年度 2Q	21年度 3Q
燃料油セグメント	▲ 94	273	649	947	296	451	737
持分法投資損益	▲ 272	▲ 288	▲ 372	▲ 411	60	86	124
基礎化学品セグメント	1	▲ 20	▲ 10	34	67	109	76
持分法投資損益	3	4	7	4	1	7	8
高機能材セグメント	48	62	95	130	43	102	142
持分法投資損益	1	▲ 3	▲ 1	8	6	14	15
電力・再生可能エネルギーセグメント	1	▲ 5	▲ 17	▲ 173	▲ 10	▲ 28	▲ 76
持分法投資損益	▲ 1	▲ 2	▲ 1	▲ 1	▲ 0	▲ 1	0
資源セグメント							
-石油開発	22	25	52	68	124	173	349
持分法投資損益	-	-	-	-	-	-	-
-石炭	10	11	▲ 7	▲ 20	6	42	215
持分法投資損益	4	7	6	6	4	8	14
その他セグメント	▲ 19	▲ 21	▲ 35	▲ 57	▲ 23	▲ 36	▲ 102
持分法投資損益	▲ 4	▲ 0	1	▲ 4	12	13	21
セグメント合計	▲ 31	326	727	928	503	813	1,342
持分法投資損益	▲ 267	▲ 283	▲ 360	▲ 398	83	127	182

※20年度1Qのその他セグメント(持分法投資損益)の実績に誤りがあり、実績は▲3となります

決算関連

■ セグメント利益四半期推移（Q別・在庫影響除き）

[億円]

	20年度 1Q	20年度2Q	20年度3Q	20年度4Q	21年度 1Q	21年度 2Q	21年度 3Q
燃料油セグメント	▲ 94	367	376	297	296	154	286
持分法投資損益	▲ 272	▲ 16	▲ 84	▲ 39	60	26	38
基礎化学品セグメント	1	▲ 22	10	44	67	42	▲ 33
持分法投資損益	3	1	3	▲ 3	1	5	1
高機能材セグメント	48	14	33	35	43	59	41
持分法投資損益	1	▲ 4	2	9	6	8	1
電力・再生可能エネルギーセグメント	1	▲ 5	▲ 13	▲ 156	▲ 10	▲ 18	▲ 48
持分法投資損益	▲ 1	▲ 1	0	1	▲ 0	▲ 0	1
資源セグメント							
-石油開発	22	2	27	15	124	50	176
持分法投資損益	-	-	-	-	-	-	-
-石炭	10	2	▲ 18	▲ 13	6	36	173
持分法投資損益	4	2	▲ 0	▲ 0	4	4	6
その他セグメント	▲ 19	▲ 2	▲ 14	▲ 21	▲ 23	▲ 13	▲ 66
持分法投資損益	▲ 4	3	2	▲ 6	12	1	9
セグメント合計	▲ 31	357	401	201	503	310	529
持分法投資損益	▲ 267	▲ 15	▲ 77	▲ 38	83	44	56

※20年度1Qのその他セグメント(持分法投資損益)の実績に誤りがあり、実績は▲3となります

販売数量実績

■ 燃料油セグメント

[千KL,%]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
ガソリン	9,706	9,772	+66	+0.7%
ナフサ	222	175	▲ 47	▲ 21.3%
ジェット燃料	1,044	1,279	+235	+22.5%
灯油	2,400	2,063	▲ 338	▲ 14.1%
軽油	7,429	7,488	+58	+0.8%
A重油	2,298	2,211	▲ 87	▲ 3.8%
C重油	1,480	1,741	+262	+17.7%
国内燃料油販売計	24,580	24,729	+150	+0.6%
輸出燃料油	3,420	4,218	+798	+23.3%
燃料油販売計	28,000	28,947	+947	+3.4%

※ジェット燃料及びC重油に含めていたボンド輸出数量は輸出燃料油に含めて表示することに変更しました

販売数量実績

■ 基礎化学品セグメント

[千t,%]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
基礎化学品	2,647	2,735	+88	+3.3%

■ 高機能材セグメント

[千KL,千t,%]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
潤滑油	780	880	+100	+12.8%
機能化学品	446	565	+119	+26.7%

※潤滑油は海外ライセンス販売先を含む

■ 電力・再生可能エネルギーセグメント

[百万kwh,%]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
電力小売販売量	2,693	3,893	+1,200	+44.6%

生産数量実績

■ 資源セグメント (石油開発・ガス生産量)

[千BOED,%]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
ノルウェー	23.2	25.8	+2.6	+11.2%
ベトナム	0.0	11.7	+11.7	—
生産量合計 (千BOED)	23.2	37.5	+14.3	+61.6%
生産量合計 (千BOE)	6,370	10,231	+3,861	+60.6%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

■ 資源セグメント (石炭生産量)

[千t,%]

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
エンシャム	3,046	2,790	▲ 255	▲ 8.4%
マッセルブルック	682	776	+94	+13.8%
ボガブライ	3,709	4,157	+448	+12.1%
豪州石炭 合計	7,436	7,724	+287	+3.9%
マリナウ	954	889	▲ 65	▲ 6.8%
生産量 合計	8,390	8,613	+223	+2.7%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算

感応度

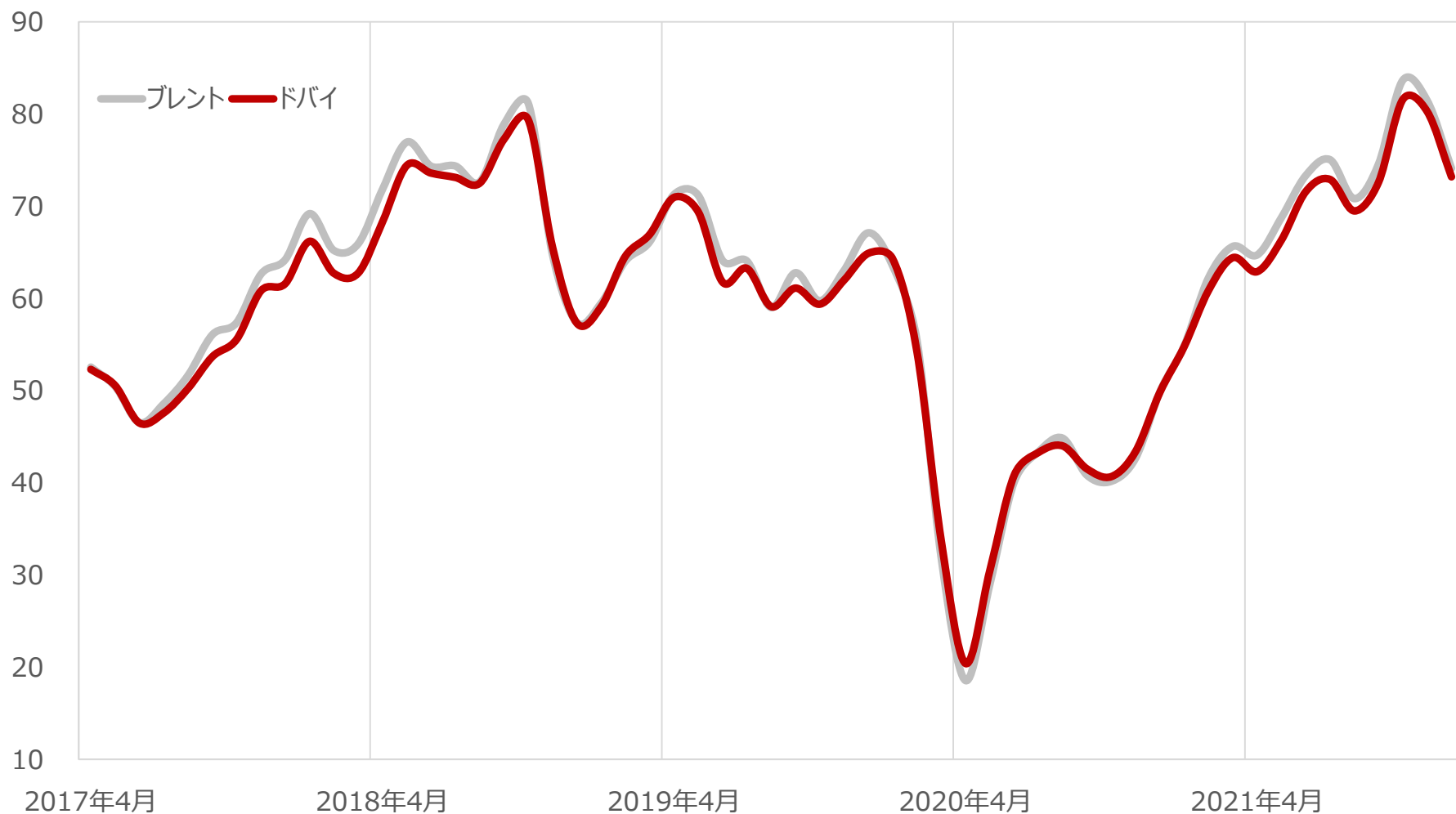
■ 原油価格、為替の変動による収支影響(年間)

項目	変動幅	感応度
原油	1 \$/バレル下落	燃料油 ▲40億円 (精製用燃料費 +10億円) (在庫評価影響 ▲50億円)
		石油開発 ▲10億円
為替	1 円/\$円高	燃料油 ▲25億円 (精製用燃料費 +5億円) (在庫評価影響 ▲30億円)
		基礎化学品 ▲5億円

※上記の他に、資源事業において、ノルウェークローネ・豪ドルの為替変動影響を受けます

原油価格（ドバイ原油・ブレント原油）

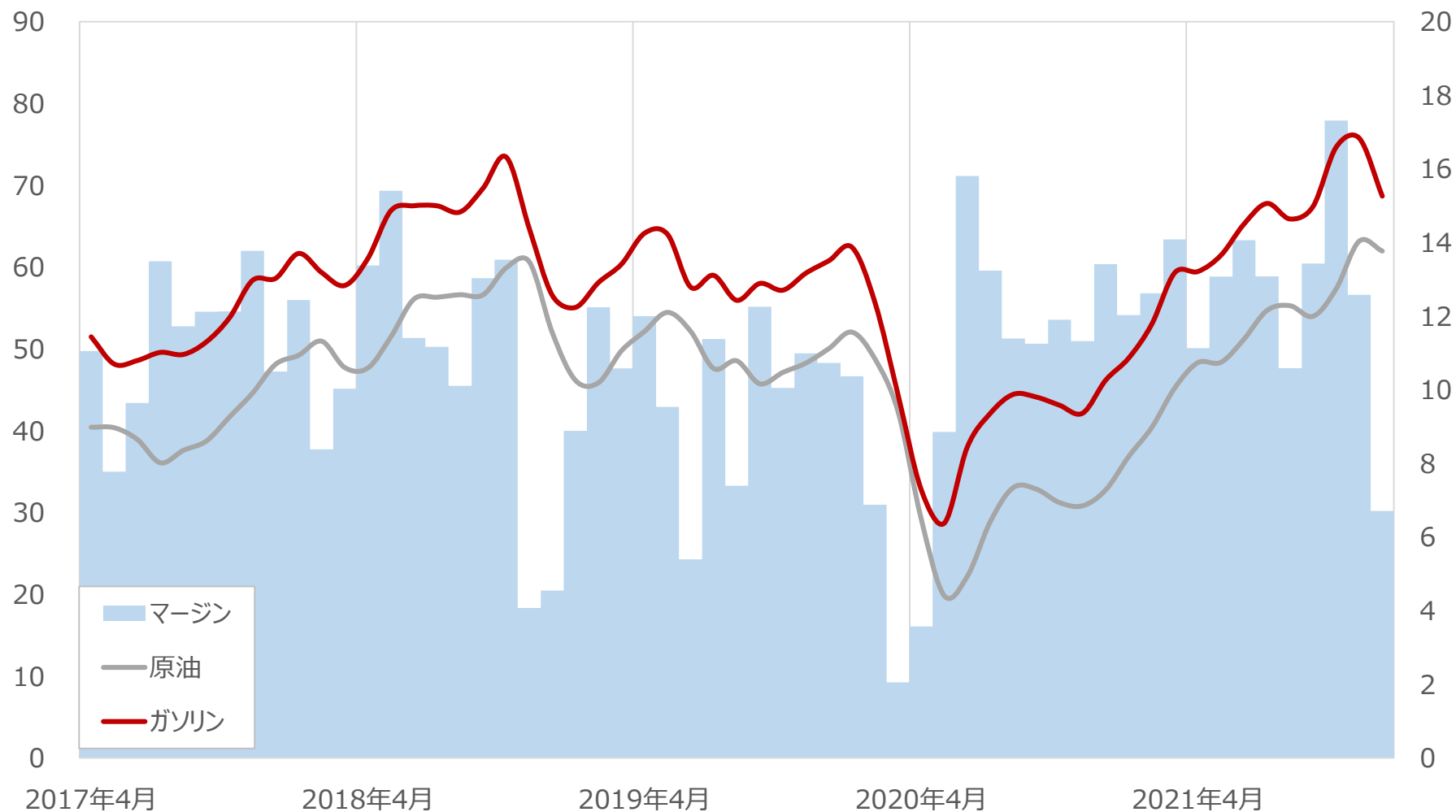
[USD/バレル]



ガソリン（国内スポット価格 - 原油）

[原油・製品：円/リットル]

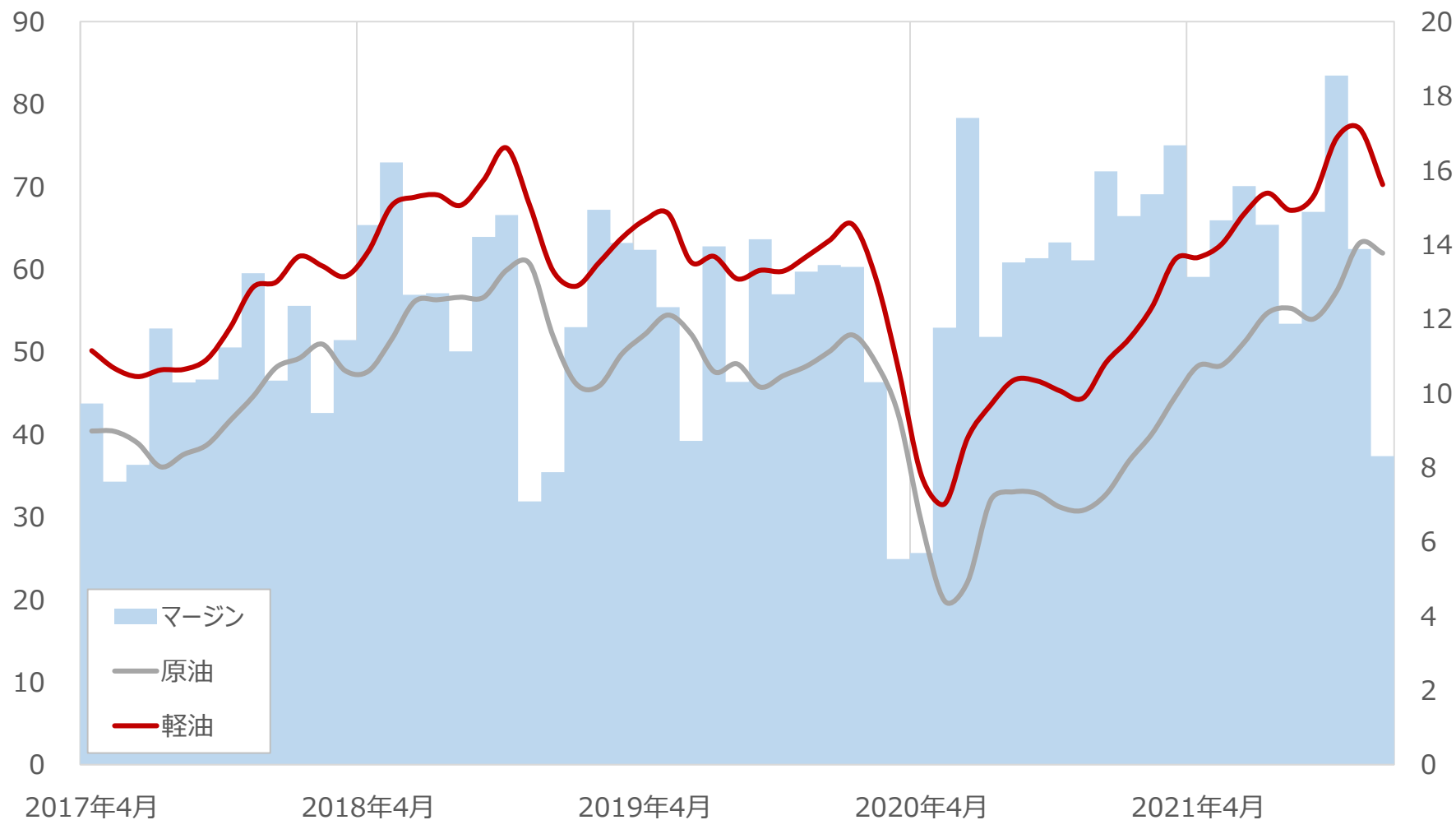
[マージン：円/リットル]



軽油（国内スポット価格 - 原油）

[原油・製品：円/リットル]

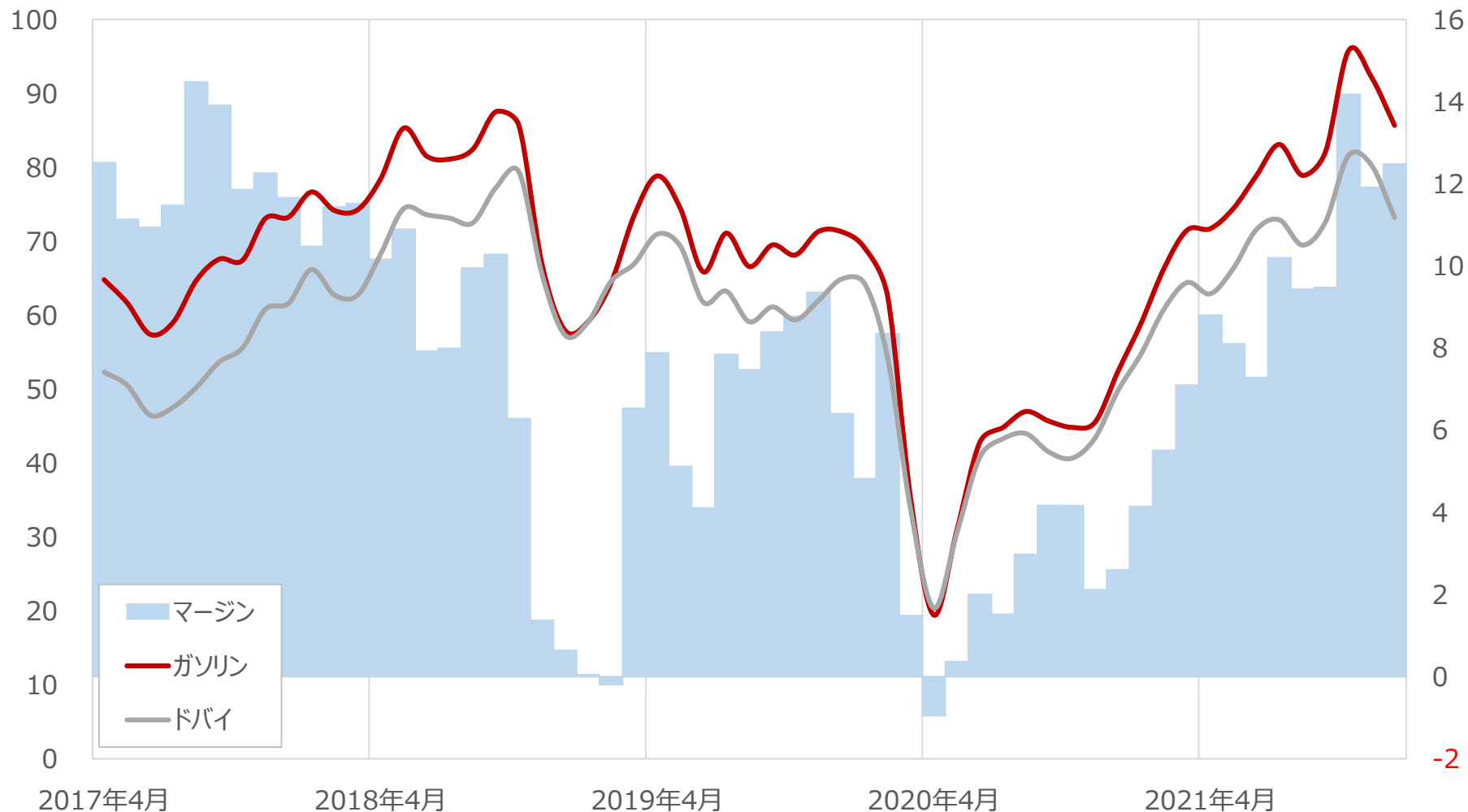
[マージン：円/リットル]



ガソリン（シンガポールスポット価格 - ドバイ原油）

[原油・製品：USD/バレル]

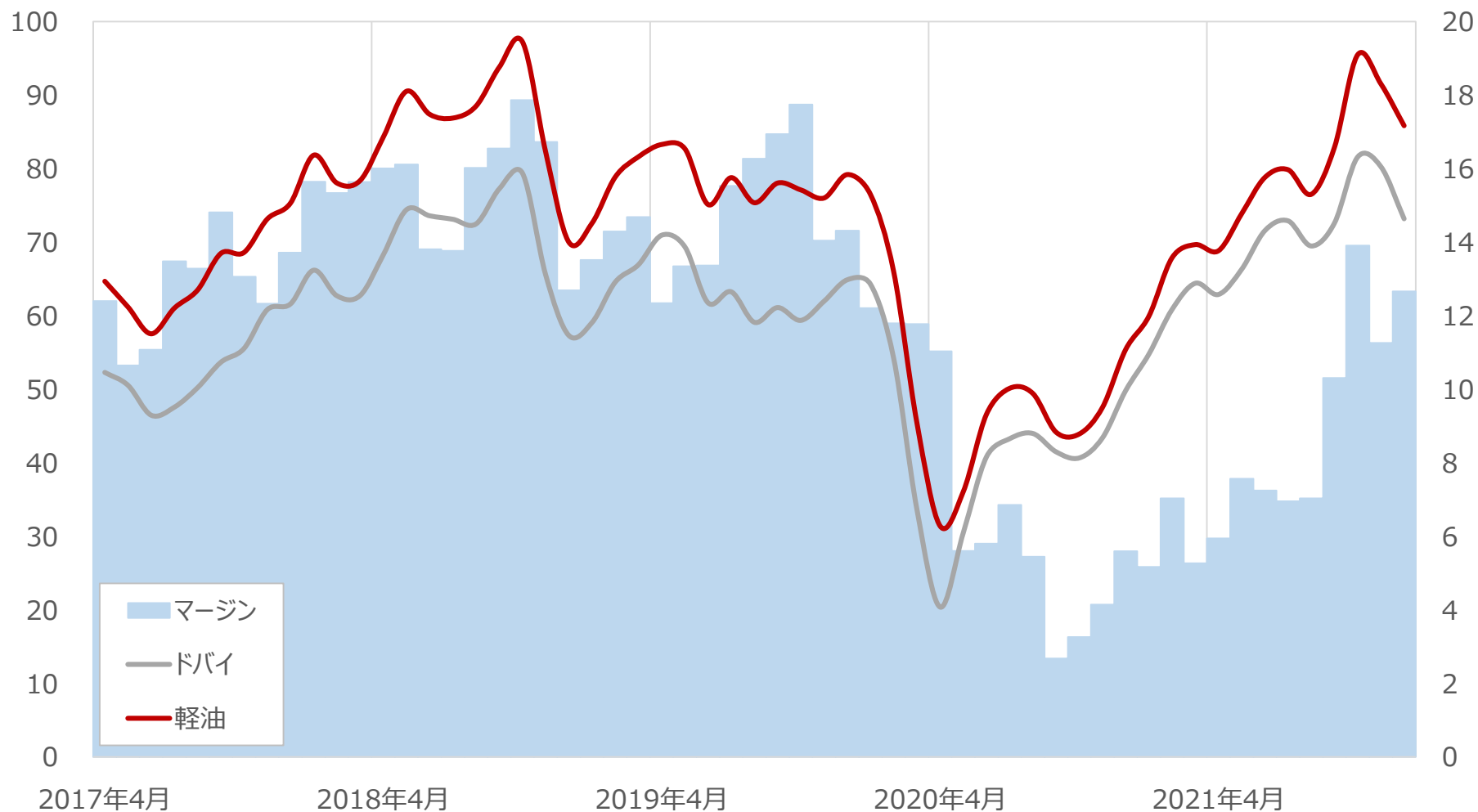
[マージン：USD/バレル]



軽油（シンガポールスポット価格 - ドバイ原油）

[原油・製品：USD/バレル]

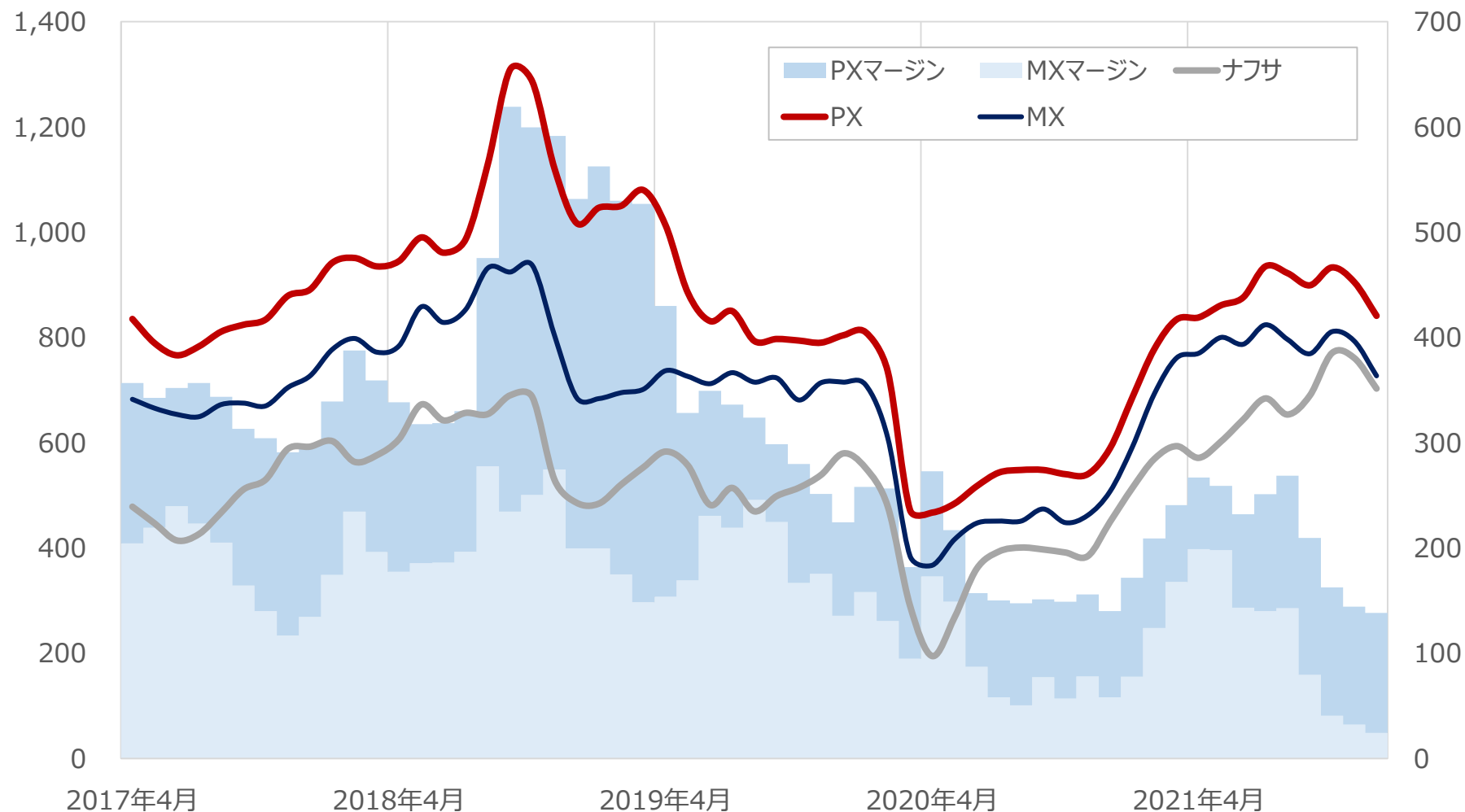
[マージン：USD/バレル]



パラキシレン・ミックスキシレン - ナフサ

[ナフサ・製品 : USD/トン]

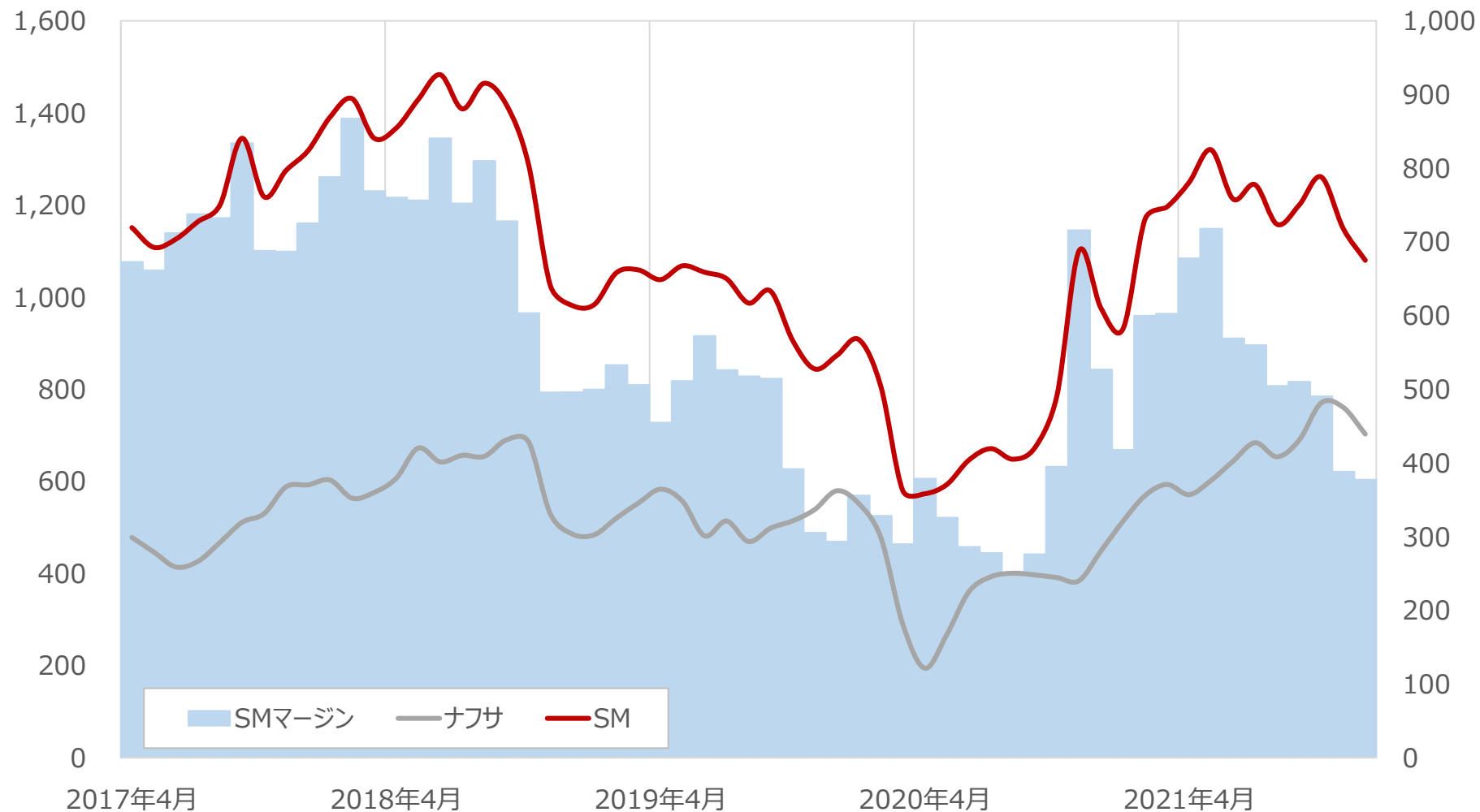
[マージン : USD/トン]



スチレンモノマー – ナフサ

[ナフサ・製品 : USD/トン]

[マージン : USD/トン]



オペレーショナルデータ

■ 製油所稼働率

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度3Q
出光興産	88%	88%	87%	78%	74%
旧昭和シェル	88%	93%			

※稼働率はBCDベース

■ SS数

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度3Q
出光興産	3,545	3,501	3,446	3,426	3,397
旧昭和シェル	3,028	2,964	2,938	2,885	2,847
合計	6,573	6,465	6,384	6,311	6,244

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的风险や不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。